

# ●市民委員会のプログラム (1) 第1回

## ○第1回市民委員会（令和8年1月31日開催）

### ①目的

- ・浜田市が目指す8年後について、同じ言葉・同じイメージで話せる状態に到達

### ②役割分担

- ・政策企画課：全体進行、さとゆめ社：ファシリテーター

### ③プログラム

議題	時間(分)	担当	内容
開会挨拶	10	市長	
本取組の背景及び目的	5(15)	政策企画課	・総合振興計画策定の全体の進め方
浜田市の現状・将来と 先行事例の紹介	5(20)	さとゆめ	・浜田市の人口の超長期推計 ・地域資源を活用したまちづくりの先行事例の紹介
ワークショップの進め方	3(23)	さとゆめ	・全体像（市民委員会のゴール）、グラドルールの説明
アイスブレイク	17(40)	さとゆめ	・各テーブルに分かれて、アイスブレイクを開始 <b>お題：本日の市民委員会に期待すること、最近のグッドニュース</b>
ワークショップ① ～市外の人に伝えたい 浜田市らしさ～	40(80)	さとゆめ	<b>お題：市外の人に伝えたい、浜田市が誇る3つの地域資源は？</b> ⇒各自にA4用紙を配布し、記載頂く ⇒各グループで共有 ⇒グループ間発表
休憩	10(90)		
ワークショップ② ～目指すべき姿～	60(150)	さとゆめ	<b>お題：テーマ別の目指すべき姿（理想の未来）は？</b> ⇒テーマ別にキーワードをポストイットに記入・貼付し、言語化 <b>お題：目指すべき姿の実現に向けて必要な具体的な取組は？</b> ⇒テーマ別に具体的な取組をポストイットに記入・貼付
ワークショップ③ ～目指すべき姿の実現 に向けて必要な取組～	60(210)	さとゆめ	<b>お題：重要度の高い取組は？（1位～3位）</b> ⇒テーマ別に重要度の高い取組を抽出 グループ間発表も実施
リフレクション	15(225)	さとゆめ	・テーブル毎に代表者が発表 ⇒本日の市民委員会の感想と、次回に期待すること
閉会挨拶	5(230)	政策企画課	
全体撮影	10(240)	さとゆめ	

# ●市民委員会のプログラム (2) 第2回

## ○第2回市民委員会（令和8年2月7日開催）

### ①目的

- ・浜田市が目指す8年後について、同じ言葉・同じイメージで話せる状態に到達

### ②役割分担

- ・政策企画課：全体進行、さとゆめ社：ファシリテーター

### ③プログラム

議題	時間(分)		担当	内容
開会挨拶	3	13:03	政策企画課	
前回市民委員会の振り返り	5(8)	13:08	さとゆめ	・ワークショップ①～③の結果共有、ビジョンのラフ絵の紹介
ワークショップの進め方	3(11)	13:11	さとゆめ	・全体像（市民委員会のゴール）、グランドルールの説明
アイスブレイク	15(26)	13:26	さとゆめ	・各テーブルに分かれて、アイスブレイクを開始 <b>お題：前回の市民委員会の感想、今回の市民委員会に期待すること</b>
ワークショップ①説明	3(29)	13:29	さとゆめ	・浜田市の魅力を高めるための取組の説明
ワークショップ① ～魅力を高める取組～	44(73)	14:13	さとゆめ	<b>お題：浜田市の魅力を高めていくために必要な取組は？</b> ⇒ビジョンのラフ絵を下図に魅力を高めるための取組をポストイットに記入・貼付 <b>【魅力とは？】</b> 市外の目線：何度も浜田市を訪れたい要素 市内の目線：市民の誇りの醸成につながる要素
ワークショップ②説明	3(76)	14:16	さとゆめ	・人口減少が地域に与える影響、守っていききたい機能の説明
ワークショップ② ～守っていききたい機能～	40(116)	14:56	さとゆめ	<b>お題：人口減少下においても、守っていききたい生活サービス機能は？</b> ⇒ビジョンのラフ絵を下図に、守っていききたい機能をポストイットに記入・貼付
グループ間発表・共有	30(146)	15:26	さとゆめ	
休憩	10(156)	15:36		
ワークショップ③説明	3(159)	15:39	さとゆめ	・次世代に受け継いでいきたい浜田市らしさの説明
ワークショップ③ ～次世代に受け継いで いききたい浜田市らしさ～	47(206)	16:26	さとゆめ	<b>お題：次世代（子や孫たち）に受け継いでいきたい浜田市らしさは？</b> ⇒各自にA4用紙を配布し、記載頂く ⇒各グループで共有、キャッチフレーズを考える
グループ間発表・共有	20(226)	16:46	さとゆめ	
今後の進め方	4(230)	16:50	政策企画課	・今後の市民参画のプロセスを説明
閉会挨拶	5(235)	16:55	市長	
全体撮影	5(240)	17:00	さとゆめ	

●第1回参加者写真



●第2回参加者写真



●浜田市の将来動向の説明

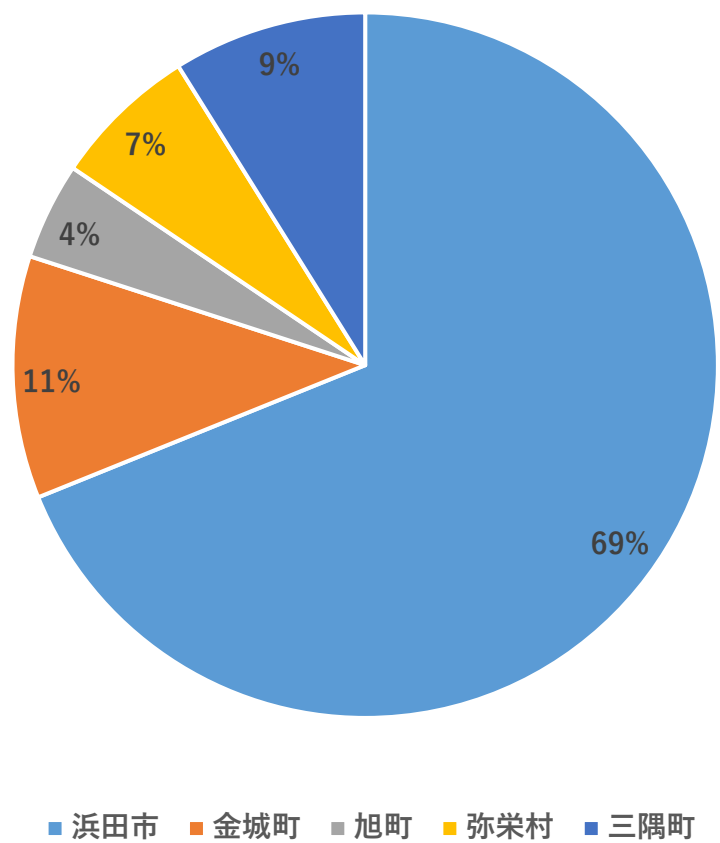


●ワークショップ風景

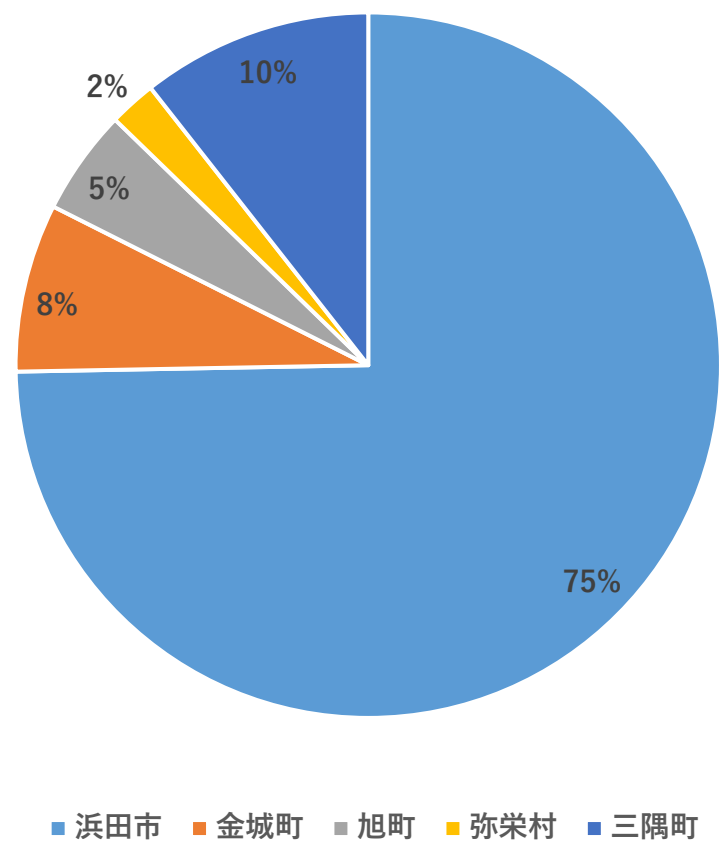


・市民委員会に参加した市民の居住地構成比と母集団構成比（住民基本台帳）を比較すると、大きな差異はありません。

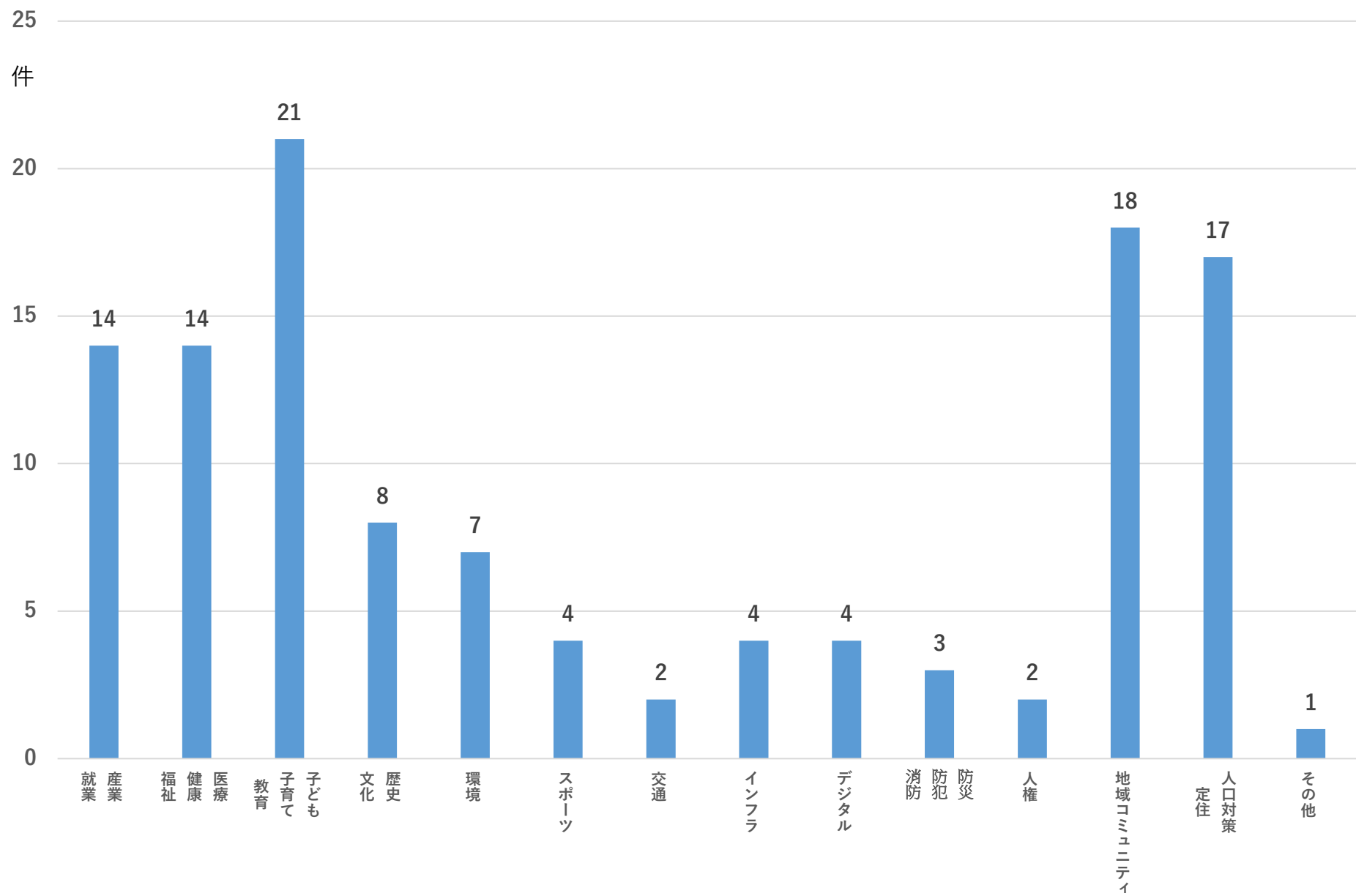
第2回参加者の地区別人口割合  
n=45



浜田市の地区別人口割合  
(2025年2月末時点)  
n=47,316



・市民委員会出席者の関心テーマとして、子ども・子育て・教育、地域コミュニティ、人口対策定住が多いです。



基本理念・・・まちづくりに係る普遍的な考え方

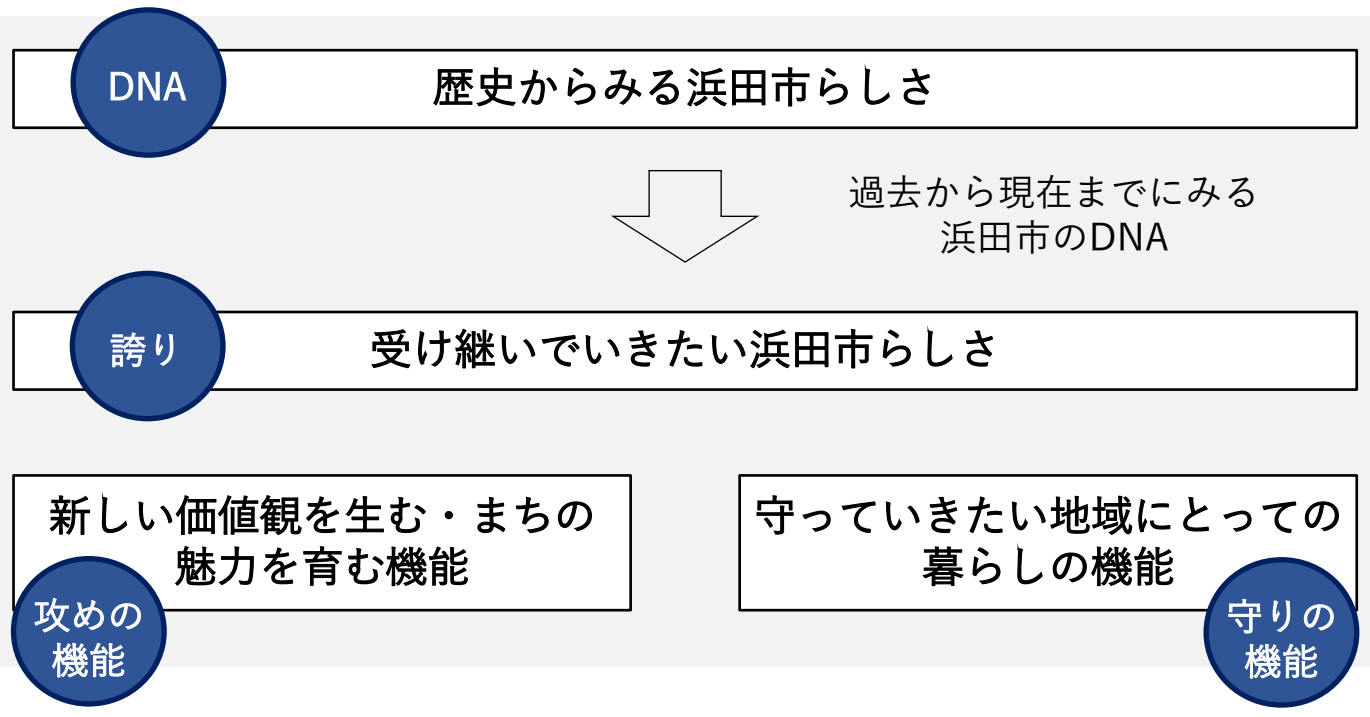


誰が？・・・市民+市に関わる多様な人々  
誰に？・・・次世代、子や孫たち  
何をつなぐ？・・・世代を超えて共通する浜田市らしさ

キャッチフレーズを設定



将来像・・・基本理念に基づき目指す中長期の理想の状態



・浜田市文化財保存活用地域計画を踏まえて整理

以下の結果を踏まえて整理  
・市民委員会  
・子どもワークショップ  
・アンケート調査

以下の結果を踏まえて整理  
・市民委員会  
・子どもワークショップ  
・アンケート調査

●基本構想への反映方法

- ・①～③の具体化と①～③を踏まえたビジョンイラストを作成

①受け継いでいきたい浜田市らしさ

○アウトー的視点（上位3位）

- ・自然の豊かさ、石見神楽、水産業

○インナー的視点（上位3位）

- ・人のつながり、自然の豊かさ、石見神楽



自然の豊かさ・石見神楽が浜田市らしさとして示唆

②新しい価値観を生む・まちの魅力を育む機能

- ・島根県立大学との交流会、こどもの遊び場・居場所 等
- ⇒幼小中高大の教育環境の充実を背景として、こどもの意見が多い

③守っていききたい地域にとっての暮らしの機能

- ・交通インフラ、医療機能、教育機能 等

●基本計画への反映方法

- ・テーマ別の目指すべき姿と具体的取組について、基本計画の分野別計画施策への反映を検討

票数	カテゴリー	内容
37票	自然の豊かさ	自然豊か
		近くに海・山・自然がある
		身近な自然
		夕日の風景・雲が流れて美しい・海岸線の美しさ・落ち着ける海辺がある
		自然（海・風・川・水・陽・土地・山）
		海浜公園・マリンスポーツ・釣り・カヌー
		自然が豊か、海・川・温泉が多い
		マイナスイオン
		海岸、砂浜もあり、岩場もあり、波止もある、変化に富んでいて楽しい
		黄長石かすみ石玄武岩、目的なくふらっと行ける場所・バス停のような小さなスポット・川に冬鳥・生態学・川と生活
		浜田川
畳ヶ浦		
16票	石見神楽	石見神楽を幼児から大人で、世代交流
		神楽、連携・世代交流
		歴史・文化
14票	水産業	のどぐろ・どんちっちあじ・どんちっちかれい・いか
		魚がおいしい
		魚が採れる
		漁港

票数	カテゴリー	内容
13票	人のつながり	人の良さ・つながり 人のことを思う地域の人々 人が優しい 人が温かい 人柄・人情 方言・人間関係 市民同士のつながりが残っている、地縁・テーマ・学校縁 地域コミュニティ・自治活動 家と家の距離
12票	食の豊かさ	食の豊富な地域 野菜、米・柿・干物 野菜がおいしい 弥栄の有機米 有機農家さんが近くにたくさんいる 有機農業・海産物、オーガニックビレッジ宣言 有機農学の産地づくり 魅力いっぱいのローカルブランド、久保田牛乳・エビス・江木蒲鉾・金城の華 地産地消・自然 水
8票	生活利便性と交通アクセスの良さ	普通に生活するには便利、学校・医療・商店・福祉・美・文化・高速 高速で東西・南もつながっている 山の奥の奥まで道路がつながっている バイパスができた 立地 買い物先が選べる 交通の便
7票	温泉	温泉が多い・豊富
6票	暮らしやすい気候	住みやすい(気温・災害が少ない・福祉の充実) 気温、海側は冬は暖流の影響で温かい・山側は夏は涼しい 自然災害が少ない・気候が穏やか 地震が少ない(高台が多い) 山陰随一の気候・温暖地域
5票	多世代にわたる学びの環境	幼稚園から大学まで、留学生もいる・様々世代 保育・幼稚園から大学 大学生のエネルギー、地域に積極的に出て活動する人が多い 県大生 大学生1000人
3票	著名なスポーツ選手	梨田昌孝・三浦龍司をはじめとする全国に知名度のある選手
3票	まち全体で支える教育・福祉・子育て	教育・人づくり 町を挙げて協力 福祉(障害)サービスの充実・協力的 子育て環境



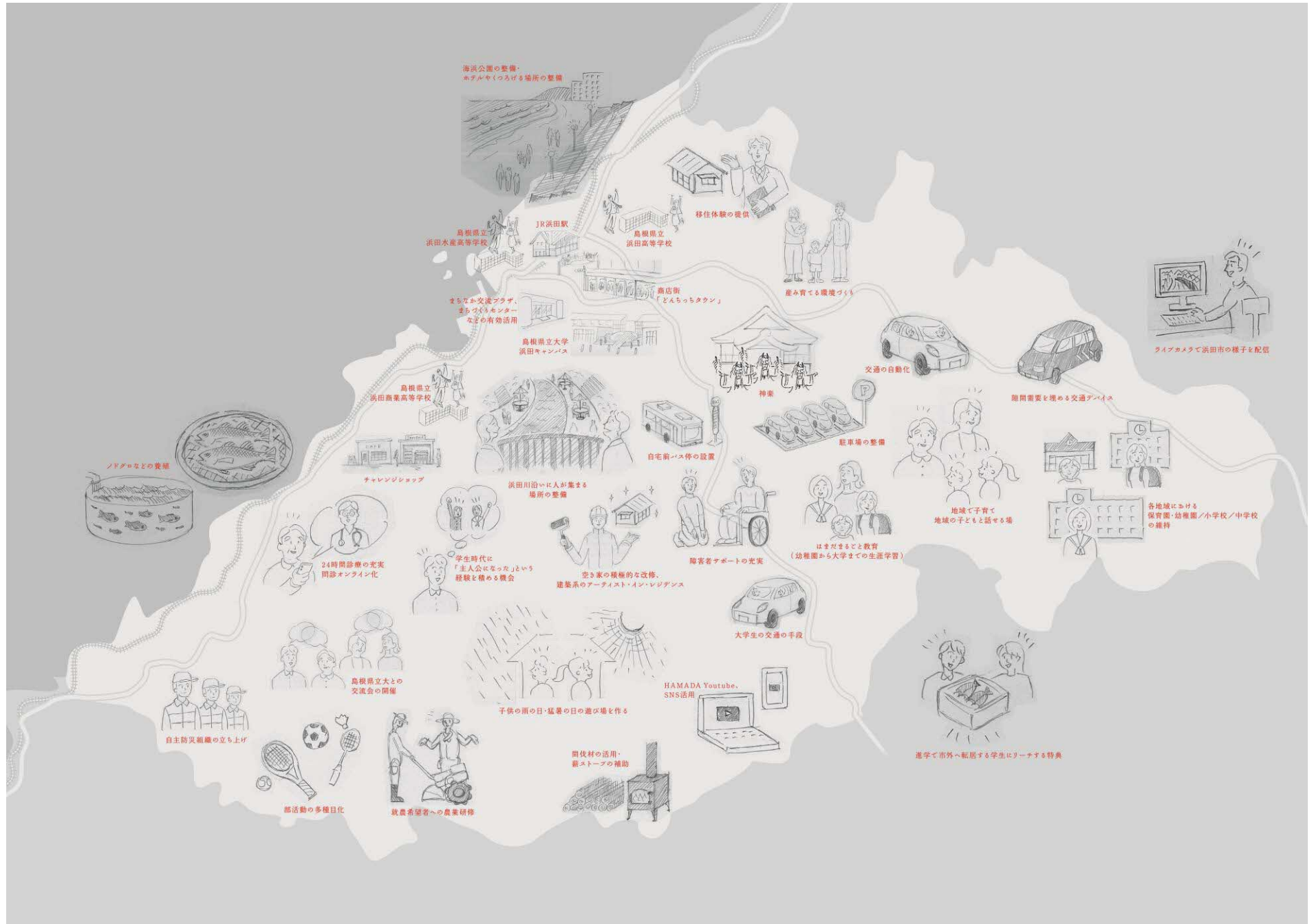
①環境	山の管理→豊かな海 浜田市の環境を活かした産業
②デジタル	交通DX、中山間地との移動
	産業DXの推進
	デジタル活用した企業
	医療デジタル
	公共施設のデジタル化（予約など）
②人権	元気な高齢者を目指すためにどうするか（100歳体操、リフレッシュ方法）
	各家庭にPC環境がある
	使う側は気づかない
	男女の収入格差の是正
	外国人との共生と推進
③交通	子どもの人権が守られているまち
	大人中心で作ってきたまちから、子供・若者をパートナーとしたまち
	こどものためにからこどもと共に
	運転できない人も快適に移動できる環境づくり
	公共交通の不便さ
③インフラ	車がなくても移動できる仕組み、浜田市へ
	大学生も交通難民
	車を持っていない人の「旭」へのアクセス難
	JRの無人化も近い！？浜田駅
	災害に強い交通を
③防災・防犯・消防	公共政策の優先順位
	質の向上、適正なマネジメント
	浜田市はまとまった平地が少ないため、市内中心部は高層化、狭い土地の活用必要
	道路を作るのは良いが、近隣施設の利用者が減らないような配慮必要
	観光客と同じくらい、そのまちに住む人のことも考えてほしい
③防災・防犯・消防	道路を延伸は良いが、そのまちの景観を残してほしい
	時間はこれ以上短縮しなくても、、、効率より大切なのは、、、
	浜田川の整備
	危機意識が低い
	防犯のための地域の見守りネットワーク
③防災・防犯・消防	火災が多い
	密集地域の消火対策
	学生は特に注意

④スポーツ	スポーツを通して多世代交流
	多様なスポーツが出来る浜田市
④歴史・文化	少人数でも維持できるスポーツに取り組む
	一次産業にかかわる技術や伝統文化の継承している
⑤医療・健康・福祉	歴史のアピール、インバウンド対策（朝ドラばげばけ、石見銀山など）
	医療体制の充実
	まず病気になるらない健康的な体づくりの情報提供（学校で）
	予防医療の充実（そのような科はないのか？）
	中山間地域での医療の存続
⑥産業・就業	総合病院を目指す
	安心して住み続けられるまちづくり
	認知症にならない
	歩ける（何歳になっても）
	温泉街の店・宿の充実
⑥産業・就業	一次産業の効率化（米など）
	港の有効活用、水産と協力
	地域の資源（有機農業）を生かした産業の実現
	AI×ITで儲かる第一次産業の実現
⑥産業・就業	良い所得、労働条件の仕事・雇用を増やす



①環境	山材を活かした産業づくり
	海洋発電
	マイナスイメージのある策を避ける
②デジタル	×太陽光発電
	子育て、ごみ捨て統合アプリ
	開発運用の専門家チーム
	浜田市版すきまバイト
	地域アプリの開発、利便化
	DX化による地域通貨、ポイントの活用
	自動運転、無人運転の導入
	申請の電子化
	市役所業務デジタル化、zoomを基本に
	徹底的な数値化
	独居の方のWi-Fi整備
	行政内でヤングケアラー、障害、その他をDX化で重層的支援のケースをしっかりと
②人権	議会答弁づくりのDX化
	遠隔医療アプリの活用（診療看護師の充実）、問診オンライン化
	セキュリティの高いDX、アプリの活用
②人権	子どもの権利を推進していく市民プラットフォームの構築
	不登校個別最適な学びの保証、学ぶ権利の保障
	認知のある方との交流をどうするか、人権を認めるには学習もいる、その教育を与えてほしい
③交通	乗合・自動運転
	病院・買い物に行ける（希望すれば）、買い物弱者への対応
	高齢者ドライバーゼロ
	福祉バスの増車
	乗合タクシーの設置、活用
	ミニバス（あちこちあらゆる時間帯）車のない人向け
	車を減らす（通勤はバスや乗り合い）
	市内エリアあちこちに循環ミニバス（10人乗り程度）
	ライドシェア、自動運転技術、ドローンの導入
	20人乗りのバス（自動運転）
JRの便を増やす	
③インフラ	道路の標示が消えている
	計画的なインフラ作り（使う人の身になって）
	公共の建物の推進・管理を適正して判断できるシステム
③防災・防犯・消防	駐車場の計画的な検討
	高度経済成長時の作ったものの老朽化への不安（橋、トンネル、道路などの安全性）
	駅前活性化を目的とした開発で山を削る、商店街の衰退への検討
	みんなが参加できる防災訓練を考える
	浜田市の防災訓練に地震対応があると良い
	防災対策で避難場所の非常電源整備がない
	防災研修は地域が必要
	食品衛生の知識を
	自主防災組織がしっかりとない
	市営住宅の消防法違反
食品衛生の知識を	
小・中学校の体育館へのエアコン設置	
空き家対策	
誰がどこにいるのかわかること	

④スポーツ	バドミントン、ロッククライミング、モルックなど
	参加しやすい部活動の体制づくり
④歴史・文化	陸上競技場の新設、大会の実施
	城山周りの美化（城山へ行くところのぼんぼり桜の時期にあれば良いのでは）
	神楽クラブ
	黒川町にある資料館が老朽化（浜田城の資料館内に展示という考え方はないか。館内が広すぎるので利活用を考えてほしい
⑤医療・健康・福祉	多世代交流で技術の継承
	インバウンド
	若い人のための医療体制
	若い人の病気の治療
	子どもたちや大人の心理サポートを増やす、気軽に居られる場所を増やす
	院内学級はなくても入院・療養している子供たちをオンラインでサポート出来たら良い
	学校の子もたちと大人、また障害がある人との交流が増えると良い
	若い人、学生が病院に行きづらい
	リモート医療で24時間診療体制
	3次救急での対応が良くなるよう医療センターを変えてほしい、医療関係者の増加
	24時間サポートできる医療、リモート診察（高齢者も）
	行政と企業が一体になって、家でのITインフラを活用した安否確認
障害者サポート（福祉・仕事など）	
障害者が働けないことも多くお金で困ってる人もおり、福祉のサポートが増えると良い	
障害者のサポートの増加（支援所の増設、オンラインでの仕事のサポート）	
明石市みたいに子育て・障害者のサポートを優先的に	
障害者の災害の時に消防・医療・市役所と話ができるサポートを	
ハザードトークという災害無線と電話が一緒のものを高齢者に配布	
母親が働かず子供と過ごしたいなら、その期間のお金のサポート必要	
⑥産業・就業	無人機の活用、圃場の整備
	土地があるので企業を誘致する



票数	カテゴリー	内容
81票	人のつながり	人と人のつながり
		地域とのつながり、関わり
		人の温かさ
		人柄の良さ
		心の居場所（オアシス）
65票	自然の豊かさ	豊かな自然（海・山・森・川・水・空気・風）
		海と山が近くて触れあえる
		自然の中で遊んだ記憶
		変わらぬ景色
		四季の風景
51票	石見神楽・文化・歴史	神楽、伝統芸能
		多様な歴史・文化
		地域の行事やイベント
		方言
		浜田藩

票数	カテゴリー	内容
47票	食の豊かさ	多様な自然の恵み（魚・野菜・肉・果物・水）
		地産地消
		ふるさとの味
		食糧自給率が高い
25票	産業・商業	水産業・漁港
		農業
		伝統工芸
		ローカルブランド溢れるまち
25票	暮らし	安心して暮らせる
		生活しやすい
		住みやすい
21票	子ども・教育	子どもに寄り添う
		大学
		幼小中高大の交流
18票	ふるさと・Uターン	帰りたくなるまち
		ふるさとを愛する気持ち
16票	医療・福祉	医療サービス
		福祉（介護・障害等）サービス
14票	インフラ・災害に強い	生活インフラ、交通インフラ
		地震や台風が少ない
13票	温泉	温泉（美又温泉150年・美人の湯）
13票	スポーツ・レジャー	魚釣り・キャンプ・海水浴・マリンスポーツ・ウィンタースポーツ
		大人も子どもも自然の中で遊べる
		かつてスポーツ王国だった
13票	チャレンジできる	やりたい事にチャレンジできるまち
11票	夕日	きれいな夕日

グループ	付箋	内容	カテゴリー	票数
1	県大生、地域活動の手伝いマッチング、同居	島根県立大との交流会の開催	教育・子育て	7
1	前は運動会や留学生との交流会などイベントがあった	島根県立大との交流会の開催	教育・子育て	7
1	地域住民の学校への協力(児童クラブなど)	地域で子育て、地域の子どもと話せる場	教育・子育て	7
1	カーシェアの充実、補助	隙間需要を埋める交通デバイス	交通インフラ	5
1	自家用車に他人を乗せる方法、市の認証制度	隙間需要を埋める交通デバイス	交通インフラ	5
1	相乗りタクシーの充実	隙間需要を埋める交通デバイス	交通インフラ	5
1	バス停の増設、手を上げたら止まって乗せてくれる	自宅前バス停の設置	交通インフラ	5
1	乗り捨てバイク	大学生の交通の手段	交通インフラ	5
1	祝日に遊べる場	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	4
1	子どもの居場所(県体育館開放、学校・学年に関係なく集える場所)	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	4
1	図書館の有効利用(子どもの居場所)	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	4
1	公園や広場を増やす	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	4
1	浜田川沿いにバス停の小屋のような小さな建物が点在。屋根とベンチと本棚がある場所。各家庭から出された本や花も置き、気軽に人が集まれる場所がほしい。	浜田川沿いに人が集まる場所の整備	場所の整備・活用	3
1	浜田川の川辺の環境整備(図書館当たり)	浜田川沿いに人が集まる場所の整備	場所の整備・活用	3
1	海浜公園沿いにしゃれたリゾートホテル(海外の人も呼び込めるような)があるといい	海浜公園の整備・ホテルやくつろげる場所の整備	場所の整備・活用	3
1	神楽の解説文をつくり、演じる前に配る	神楽	神楽・伝統・文化	2
1	神楽の物語のわかるツアー	神楽	神楽・伝統・文化	2
1	浜田の良さを発信する魅力的な人材育成	HAMADA YouTube、SNSの活用	情報発信	2
1	近大の開発している養殖	ノドグロなどの養殖	一次産業・漁業・農業	1
1	オンライン診療の実現	24時間診療の充実、問診オンライン化	医療・福祉・高齢者・障害者	1
2	特産品のPR、YouTubeで全国発信(赤てん・のどぐろ・温泉)	HAMADA YouTube、SNSの活用	情報発信	4
2	Instagramの活用、情報(市民)・観光(市外)で分けて情報発信	HAMADA YouTube、SNSの活用	情報発信	4
2	子どもの声を聞かれる体験	地域で子育て、地域の子どもと話せる場	教育・子育て	4
3	チャレンジショップが東・中心・西・美又の4ヶ所あると良い(パン屋・おしゃれなカフェ)	チャレンジショップ	商業・商業施設・経済・流通	6
3	電動自転車、キックボードなど	隙間需要を埋める交通デバイス	交通インフラ	4
3	カーシェアリング(大学生)	大学生の交通の手段	交通インフラ	4
3	神楽のプロモーション(口上の説明もいる)	神楽	神楽・伝統・文化	2
3	ノドグロが市民に届いていない	ノドグロなどの養殖	一次産業・漁業・農業	1
4	大学生と浜田市内で活動している団体との連携、活動発表会の開催	島根県立大との交流会の開催	教育・子育て	6
4	無料駐車場を多くつくる	駐車場の整備	交通インフラ	3
4	県大生用相乗りタクシーを使いやすく	大学生の交通の手段	交通インフラ	3
4	定住してくれる仕組みづくりをする(マリンスポーツ・農業体験)	移住体験の提供	移住・空き家対策	3
4	移住希望者が浜田の暮らしを体験するための宿泊施設(1~2週間ぐらい)	移住体験の提供	移住・空き家対策	3
4	市街地活性化、空き家を新しい住宅に、ビジュアル重視	空き家の積極的な改修、建築系のアーティスト・イン・レジデンス	移住・空き家対策	3
4	不登校児の居場所	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	3
4	雨天の日も遊べる施設(サンビレッジ跡地)	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	3
4	不登校の子どもも含め、子どもがやりたいことを思いっきりできるプレイパーク	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	3
4	穴子もあるよ	間伐材の活用・薪ストーブの補助	一次産業・漁業・農業	2
4	ノドグロ養殖を近大との連携が可能か?	ノドグロなどの養殖	一次産業・漁業・農業	2
4	活発なサークル活動の支援	まちなか交流プラザ、まちづくりセンターなどの有効活用	地域コミュニティ	1
4	神楽の芸術化	神楽	神楽・伝統・文化	1
5	幼小中高大の教育環境が整っている	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	6
5	まちづくりセンターを月1回お店にしたりする	まちなか交流プラザ、まちづくりセンターなどの有効活用	地域コミュニティ	4
5	アフター3H課外授業(まちづくりセンター)	まちなか交流プラザ、まちづくりセンターなどの有効活用	地域コミュニティ	4
6	大学生と交流し若い意見・話すためのバーベキューの開催	島根県立大との交流会の開催	教育・子育て	6
6	「どんちっち」のブランディング	商店街「どんちっちタウン」	商業・商業施設・経済・流通	4
6	駅前にレンタル自転車・バイク	隙間需要を埋める交通デバイス	交通インフラ	3
6	空き家の改修と移住体験・農業体験・学生のチャレンジ・定住のメニュー化	移住体験の提供	移住・空き家対策	3
6	学生に運営を委託→成功体験、バズるのは若い人が詳しい	HAMADA YouTube、SNSの活用	情報発信	2
6	浜田川の整備、川の中に草が生えてる、散歩コース	浜田川沿いに人が集まる場所の整備	場所の整備・活用	1
6	ノドグロの養殖はニュースに出てた、もっと早くから取り組んでいけば・・・	ノドグロなどの養殖	一次産業・漁業・農業	1

## ●第2回市民委員会の結果 (3) 守っていききたい生活機能

グループ	付箋	内容	カテゴリー	票数
1	なるべく残したい	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	4
1	一体化も検討	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	4
1	水産高校	島根県立浜田水産高等学校	教育・子育て	4
1	JR	JR浜田駅	交通インフラ	3
1	バス等、自動化の検証	交通の自動化	交通インフラ	3
1	地区ごとの神楽	神楽	神楽・伝統・文化	3
2	保育・教育機能	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	6
2	保幼小中の複合施設	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	6
2	学校、保・幼	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	6
2	大学	島根県立大学浜田キャンパス	教育・子育て	6
2	福祉サービス(障害者)	障害者サポートの充実	医療・福祉・高齢者・障害者	5
2	駅(鉄道)	JR浜田駅	交通インフラ	4
2	学校以外の子どもの居場所・サービス	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	2
2	公園の整備(子どもは少なくなるけど、子どもの居場所として残してほしい)	子どもの雨の日・猛暑の日の遊び場を作る	子どもの遊び場・居場所	2
2	まちづくりセンター(建物と自治会など)	まちなか交流プラザ、まちづくりセンターなどの有効活用	地域コミュニティ	1
3	大学は残したい(500人はキープ)	島根県立大学浜田キャンパス	教育・子育て	3
3	子どもの意見を聞く・反映する仕組み、カタチにする	地域で子育て、地域の子どもと話せる場	教育・子育て	3
3	自宅前バス停の設置、移動手段は必要	自宅前バス停の設置	交通インフラ	3
3	バス停の場所の見直し(市民の声)	自宅前バス停の設置	交通インフラ	3
3	100円バス(大学生の移動手段)	大学生の交通の手段	交通インフラ	3
3	黒沢公民館は良いモデル	まちなか交流プラザ、まちづくりセンターなどの有効活用	地域コミュニティ	2
3	まちづくりセンターを身近な拠点、気軽に集える場所に(休日・午後以降は閉まっている)	まちなか交流プラザ、まちづくりセンターなどの有効活用	地域コミュニティ	2
4	大学生向けのチャレンジショップ	チャレンジショップ	商業・商業施設・経済・流通	8
4	生活サービス機能(教育施設)を残す	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	4
4	教育施設	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	4
4	保育施設	各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持	教育・子育て	4
4	イベント時の神楽講演	神楽	神楽・伝統・文化	1
5	24h対応できる病院、医療レベルを上げていく(病状が悪いと現状では対応できない)	24時間診療の充実、問診オンライン化	医療・福祉・高齢者・障害者	17
5	障害者の駐車場があまりない(あったとしても元気な人が使っていることもある)	駐車場の整備	交通インフラ	7
5	まちづくりセンターの活用(市民活動の優先)	まちなか交流プラザ、まちづくりセンターなどの有効活用	地域コミュニティ	6
6	JR、市民がまず乗らないと!	JR浜田駅	交通インフラ	2